

新社会

つくば

発行：新社会つくば

TEL 029-857-1154 FAX857-1254

金子 かずお気付

kaneko@max.hi-ho.ne.jp

<http://kanekokazuo.hakurakuryo.org/>

2018年 9月18日 第1091号



ふるさと納税・ 高額な返礼品を考える



ふるさと納税とは、ふるさとや応援したい自治体に寄附ができる制度のことです。手続きをすると、所得税や住民税の還付・控除が受けられます。多くの自治体では地域の名産品などのお礼の品も用意！ 寄附金の「使い道」が指定でき、お礼の品もいただける魅力的な仕組みです。しかし、一部自治体では高額な返礼品を呼び水に寄附を集めていることなどに批判も出ています。金子議員は昨年3月議会と今年6月議会ですべてこれら高額な返礼品問題が想定されるとして議会質問を行っています。

この程、総務省なども問題であると見直しの声を上げている。今年6月市議会での一般質問を掲載しました。

ふるさと納税について

質問・金子かずお議員

ネットを通じて寄附ができることや返礼品が注目されることもあり、ネットショッピングのイメージから、納税者から、返礼品の発送が遅いなどと文

句を言われるケースがあるとも聞いております。国民には納税の義務が定められ、税金は、都道府県や市町村が公的サービスを行うのに必要な費用を賄うために使われます。日本は民主主義国家でありますので、税金に関する法律は、国民の代表者が集まる国会で決められます。同じように、地方公共団体の税金である地方税についても、その地域住民の代表が集まる地方議会で定められていきます。

昨年の3月議会で、ふるさと納税について質問をしました。返礼品の制度などについてはいささか疑問を持つものでありますが、課題と成果についての答弁がありました。部長は、昨年の答弁で、寄附を集めるだけでなく、つくばを知ってもらい、来てもらうことが重要であると述べています。つくば市が納税実績を伸ばした内容について、具体的に教えていただきたいと思っております。

答弁・政策イノベーション部長

ふるさと納税については、より多くの方々に寄附していただくとともに、返礼品を通してつくばの魅力を知らせよう、よりつくば好きになってもらうなど、つくばの魅力をPRしていくためには有効な手段と考え、昨年2月から寄附者への返礼品を導入しました。

昨年度、平成29年度のふるさと納税による寄附金額は約4,000万円となり、

前年度平成 28 年度と比較して 5 倍になっています。多く選ばれている返礼品は、主に市内で生産されたコシヒカリや原木栽培の生しいたけとなります。

質問 金子かずお議員

つくばらしさというのはなかなか難しいのかもしれませんが、他の自治体と重なり合って、税の取り合いっこみたいな形になる部分も見え隠れするような形がありますが、品目というのは相当あるものなのですかね。

答弁 政策イノベーション部長

昨年 2 月導入時は 55 品目でしたが、その後追加することで、ことし 3 月末時点で 84 品目となっております。

質問 金子かずお議員

去年から比べますと、確かに実績が伸びているので、新聞などでも報道されておりますが、前回のときも寄附の実績などについて述べていただきましたけれども、そういうのは何かわかりやすいのはあるのでしょうか。

答弁 政策イノベーション部長

例えばつくば市が力を入れている体験型のプログラムの寄附につきましては、現在、つくばマラソンやセグウェイなどの体験型を今導入しておりますが、昨年 2 月からことし 3 月末までの実績で合計 177 件ございまして、その金額としましては約 950 万円の寄附の実績となっております。

質問 金子かずお議員

私は、こういうのこそ、体験型みたいなセグウェイとか、マラソンなんかもそうですが、そういうものは非常につくばらしくていいなと思っているの

ですが、そういうのになるべく力を入れて、他の地域と商品取りっこするみたいな形じゃなくて、やっていただきたいなと思っています。

これは国でお進めする制度ですから、つくば市としても、他の自治体との競争もあるかもしれませんが、そういう方向性があるとすれば来年度もやっていくという形になるのでしょうか。そういう方向性というのは何か見えるものがあるのでしょうか。

答弁 政策イノベーション部長

御指摘のとおり、その体験型につきましても、例えば科学技術の資源を生かしたようなものをできないかなど、今、検討を進めております。そのほかにも、まちづくりに参画するプロジェクト型のふるさと納税や、つくばの魅力を知ってもらい、それをきっかけにつくば市に来てもらう仕掛けをつくること、そういったことを大事と考えておりまして、これらについてしっかり取り組んでいくためにも、今後も引き続き、庁内はもとより、関係機関と連携して進めていきたいと考えております。

質問 金子かずお議員

先ほども述べさせていただきましたけれども、制度についてはちょっと考えることがあるわけですが、そのような体験型という形で行っていくというのは、つくば市を知ってもらうということでは非常にいいことだと思いますので、その部分については積極的に取り組んでいただきたいなと思います。

